

### 3 複合的な災害リスクの分析及び総合評価

#### （1）総合的な災害リスク（建物倒壊、道路閉塞、延焼火災）の評価

##### ア 評価の目的及び方法

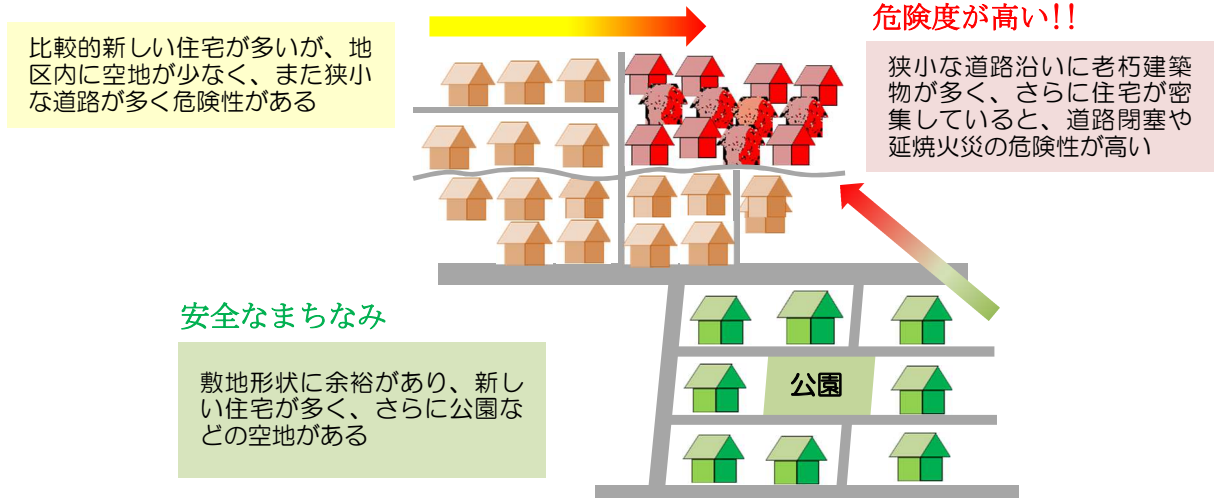
建物倒壊、道路閉塞、延焼火災のリスクが全て高い地区では、それぞれのリスクによる被害だけでなく、それらが負の連鎖を引き起こし、より被害を広範囲に拡大し、甚大化させることが懸念されます。

例えば、南海トラフ大地震等の大規模地震が発生した場合、木造建物が密集する地域で同時多発的に火災が発生すると地域の消防力に対応しきれないことや、また、消防力が充実していたとしても、建物倒壊等により道路が通行できず、火災現場への到着が遅れるなど、被害が拡大する恐れがあります。さらに、建物倒壊、道路閉塞により避難困難リスクも高く、二次的な人的被害が発生する恐れがあります。

こうした地区では、道路の閉塞により、緊急車両等の進入が阻害され、円滑な応急活動、迅速な復旧活動が遅れることも懸念されます。

こうしたことから、建物倒壊、道路閉塞、火災延焼が重複することによる災害に対する総合的なリスクを、それぞれの危険度を相加平均することにより算出します。

##### ■ 危険度のイメージ



##### ■ 評価指標

都市防災 総合危険度		
危険度評価値		総合危険度
■ (Red)	5	4.01以上
■ (Orange)	4	3.51以上4.01未満
■ (Yellow)	3	3.01以上3.51未満
■ (Light Green)	2	2.01以上3.01未満
■ (Dark Green)	1	1.00以上2.01未満

「改訂 都市防災実務ハンドブック」の複合リスクによる危険度評価の方法を参考に、数値化した建物倒壊、道路閉塞、延焼火災の危険度を相加平均して判定することで、自治会が市全域のなかでどれくらい危険性が高いかを左記の5段階で相対的に評価しました。

##### ■ 算定方法

$$\text{総合危険度} = (\text{建物倒壊の危険度} + \text{道路閉塞の危険度} + \text{延焼火災の危険度}) \div 3$$

## イ 評価の結果（総合リスク5 or 4の地区）

地区名			災害危険度判定調査の危険度*1				災害危険度判定調査の詳細*2			
連合自治会	自治会	図面No	総合	建物倒壊	道路閉塞	延焼火災	老朽建物率	木造建物率	幅員4m未満道路率	幅員4～8m道路率
上山梨	金屋敷	76	5	5	3	5	55%	79%	38%	21%
	上町	78	5	3	5	5	39%	76%	19%	72%
	中町	79	5	5	5	5	53%	76%	4%	83%
	入古町	80	4	4	3	5	46%	76%	17%	45%
方丈	方丈南	118	5	4	5	5	41%	82%	39%	47%
	方丈西	115	4	4	4	4	46%	62%	8%	64%
高尾	田端	53	5	4	5	4	41%	68%	47%	32%
	大門1丁目	49	5	5	4	4	53%	77%	24%	47%
	大門2丁目	52	4	3	4	4	31%	72%	32%	47%
	大門3丁目	51	4	3	5	4	38%	67%	36%	64%
高南	砂本町	36	5	4	5	4	48%	78%	—	88%
	南町	42	5	4	5	4	49%	76%	28%	51%
	小川町	37	4	4	5	3	45%	76%	—	82%
	青木第二	41	4	5	3	3	52%	83%	—	52%
袋井	中央	93	4	5	3	3	57%	71%	8%	45%
	永楽町	91	4	4	5	3	41%	59%	42%	37%
	新町	92	4	4	4	3	49%	75%	19%	53%
	本町	94	4	4	5	3	49%	78%	21%	74%
川井	川井中	88	4	4	4	3	48%	73%	29%	36%
	川井東	89	4	3	5	3	38%	69%	47%	31%

\*1 危険度判定調査の危険度のうち、「総合」は、建物倒壊、道路閉塞、延焼火災による複合危険度

\*2 「老朽建物率」は、自治会内の全建物に対する老朽建築物（昭和56年以前に建てられた木造建築物、若しくは昭和46年以前に建てられた非木造建築物）の割合

「木造建物率」は、自治会内の全建物に対する木造建築物の割合

「幅員4m未満道路率」は、自治会内の全道路延長に対する幅員4m未満道路の割合

「幅員4～8m道路率」は、自治会内の全道路延長に対する幅員4～8m道路の割合

■ 総合的な災害リスクの評価

【評価の考え方】

建物倒壊、道路閉塞、延焼火災のリスクが全て高い地区では、個別のリスクによる被害だけでなく、それらが負の連鎖を引き起こし、被害を拡大、甚大化させる恐れがあります。

そこで、個別の災害リスクごとに算出した危険度を重ね合わせ、各自治会の総合評価を行いました。その結果、市全体における各自治会の危険度を相対的に評価するため、総合危険度4を超えるものを「危険度5」としました。

